

授業概要

本講義では、今後の教育実習や教員となることを想定し、中学校社会科および高校公民科の教育における教材研究の活用方法について理解することを目的とする。加えて、学習指導案の作成や教材の開発・選定、情報機器およびITネットワークの授業への活用におけるポイントを考える。また、教材を活用した模擬授業に取り組んでもらい、①効果的な教材の開発、②教材を取り入れた授業における課題、の2点について理解・考察を深めていくことを目指す。

尚、本講義では、担当者による講義形式の授業に加えて、受講生同士のディスカッションや発表、ミニレポートを行う。そのため、自主的に学ぶ意欲や講義への積極的な参加が求められる。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：中学校社会科および高校公民科の教育における教材活用の意義とは？
第 2 回	社会科・公民科の教育方法①：中学校および高校の授業における教材活用の相違点を考える
第 3 回	社会科・公民科の教育方法②：各分野における教材開発のポイントの考察
第 4 回	社会科・公民科の教育方法③：教材を利用した学習指導案の作成
第 5 回	政治経済の指導法の検討①：日本の政治体制に関する教材開発の事例と討論
第 6 回	政治経済の指導法の検討②：日本の経済構造に関する教材開発の事例と討論
第 7 回	国際関係の指導法の検討①：先進国の政治経済に関する教材開発の事例と討論
第 8 回	国際関係の指導法の検討②：新興国・途上国の政治経済に関する教材開発の事例と討論
第 9 回	現代社会の指導法の検討①：未成年の政治参加に関する教材開発の事例と討論
第 10 回	現代社会の指導法の検討②：教材としての情報機器およびネットワークの活用と課題の検討
第 11 回	倫理の指導法の検討①：先人の思想と今日の間人像に関する教材開発の事例と討論
第 12 回	倫理の指導法の検討②：現代社会の課題と倫理に関する教材開発の事例と討論
第 13 回	公民科教材の実践研究①：指導案の作成、個別発表（模擬授業の実践）、ディスカッション
第 14 回	公民科教材の実践研究②：指導案の作成、個別発表（模擬授業の実践）、ディスカッション
第 15 回	公民科教材の実践研究③：指導案の作成、個別発表（模擬授業の実践）、ディスカッション
第 16 回	筆記試験：講義内容のポイントを理解し、その重要性を考える。

到達目標

- ①中学校社会科および高校公民科の授業において、教材を活用する意義を理解する。
- ②各分野に合わせた教材の選定、教材の実践方法、そして効果的な指導案の作成方法を習得する。
- ③教師となることを踏まえて、社会科教材の効果的な活用方法と課題を考察する。

履修上の注意

受講者数に応じてグループ発表の日程を変更する可能性があることに留意してほしい。
 「社会科・公民科教育法Ⅰ」を前提に講義を進めるため、同講義を履修していることが望ましい。
 原則として遅刻・欠席は認めず、不必要な私語や携帯電話の使用も禁止する。

予習復習

社会で起こっているニュースに関心を持ち、新聞・テレビ等の情報を意識すること。
 講義中にミニレポートを複数回行うため、配布資料の内容について復習すること。
 講義内でのグループ発表や学習指導案作成に向けて、十分な調査・事前準備を行うこと。

評価方法

筆記試験（40%）、個別発表（40%）、ミニレポートを含む講義への参加・貢献度（20%）

テキスト

教科書：文部科学省「中学校学習指導要領」および「中学校学習指導要領解説 社会編」
 文部科学省「高等学校学習指導要領」および「高等学校学習指導要領解説 公民編」
 参考書：授業研究委員会[2013]『高等学校公民科 とっておき授業 LIVE 集』清水書院
 山崎広明[2010]『もういちど読む山川政治経済』山川出版社
 小寺聡[2011]『もういちど読む山川倫理』山川出版社

※毎回の講義でプリントを配布する。また、上記以外の参考文献は適時紹介する。